

第4回薬学の未来を考える京都シンポジウム

京都大学大学院薬学研究科医薬産業政策学講座発足記念

「資源配分、価値創造から考える先発薬・後発薬の棲み分けと薬価制度のあり方」

日 時 : 2012年10月13日(土) 13:30より

会 場 : 京都大学薬学部記念講堂

参加費 : 無料

13:00～ 受付開始

13:30～13:40 開会挨拶:佐治 英郎(京都大学薬学研究科長)

13:40～14:10 座長: 橋田 充(京都大学大学院薬学研究科薬品動態制御学分野教授)

柿原 浩明(京都大学大学院薬学研究科医薬産業政策学講座教授)

基調講演

「医師の処方行動、公正な推進策と薬価制度のあり方－医師・経済学の視点から」

14:10～15:40

座長: 柿原 浩明

村上 正泰(山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座教授)

「経済・財政から見た先発薬・後発薬のあり方」

長江 敏男(Pharma Business Consultant 元アベンティス執行役員マーケティング部長)

「研究開発段階の事業評価、Go/No-go 意思決定からみる日本の競争力」

加茂谷 佳明(塩野義製薬常務執行役員)

「先発薬・後発薬の望ましい棲み分けとは?－先発薬メーカーとして」

澤井 弘行(沢井製薬代表取締役会長)

「先発薬・後発薬の望ましい棲み分けとは?－後発薬メーカーとして」

鎌田 光明(厚生労働省医政局経済課長)

「先発薬・後発薬のあり方－医薬品産業振興の立場から」

酒井 敏行(京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的癌予防医学教授)

「創薬経験から製薬業界に望むもの」

15:40～16:00 休憩

16:00～17:30

座長:西村 周三(国立社会保障・人口問題研究所長)

パネルディスカッション

討論者: 上記プレゼンター

「新薬・先発薬・後発薬の棲み分けと日本における医薬品産業の将来展望」

17:30

閉会挨拶

主 催 : 京都大学薬学部記念事業委員会

連絡先 : 京都大学大学院薬学研究科医薬産業政策学講座 三船理絵

電話: 075-753-9273 FAX: 075-753-9273